※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)標準数学ＩA演習い	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	共通テスト直前対策問題集　Ｊシリーズ　数学Ｉ＋A（河合出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

半期でＩA の共通テスト形式の問題演習をするため、しっかりと予習・復習・解きなおしをすること。すべて既習内容であり、基礎的な内容は身に着いていることが前提となる。苦手分野を復習をしておくことで学習効果を上げることができる。受験をイメージして、予習や復習などプラスアルファの学習もすること。

２　学習の到達目標

数学的な知識について深く理解し、主体的に習得し、活用する中で技能の習熟を図る。
・基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身につけている。
・事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。
・数学的知識を用いて事象を表現する良さを認識し、問題解決の過程を振り返って考察を深め、積極的に評価・改善したりしようとする態度を身につけている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各単元についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	各単元について考察したり、単元間の関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	数学ＩＡの範囲の演習	・数学ＩＡの範囲を総合的に学習する。 ・実践問題を通して、数学的思考力の向上を図る。	a: 既習内容の概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数学的に表現・処理できるようにする。 b: 既習内容をもとに、目的に応じた式変形や条件を適切に利用できるようにする。 c: 数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数学的根拠に基づいて判断しようとしたりできるようにする。	定期考査 口頭試問	定期考査 口頭試問	課題 小テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度